

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 工業 科目 工業技術基礎

教科：工業 科目：工業技術基礎 単位数：4 単位

対象学年組：第1学年 D組～組

教科担当者：（D組：古川）（D組：岩田）（D組：有村）

使用教科書：（工業技術基礎、プロダクトデザインのための製図）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】 画像処理ソフト、基礎製図、色彩など、ものづくりにおいて基礎的技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 課題に対して深く考え、適切な表現方法を判断するとともに、多角的な観点で制作する力を培わせる。

【学びに向かう力、人間性等】 課題制作に意欲的に取り組み、社会とのつながりを意識した姿勢づくりを身に付ける。

科目 工業技術基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
色彩についての知識や表現方法について学び、画像処理ソフトの基礎的技術、活用方法を習得する。基礎製図は道具の扱い方から図面の描き方を学び、図学を知る。	それぞれの作品の完成度や表現方法を高める技術を活かし、思考力・判断力・表現力を身に付ける。その他の制作作業の応用として自信で考え展開できるよう繋げる。	課題制作に意欲的に取り組み、社会とのつながりを意識した姿勢づくりを身に付ける。対象者を考慮したものづくりや社会情勢を考える力など意識づくりを持たせる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	A 単元 【知識及び技能】 道具の扱い方、線種の理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な道具の選択、扱う技術 【学びに向かう力、人間性等】 丁寧な仕上げの心掛け	○製図・表示 道具の扱い方、線の描き方、線の種類	【知識・技能】 線の種類を理解し、描き分けてきている。 【思考・判断・表現】 道具の使い方を工夫し、線を描くことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 線を描き分けることにより伝え方が変わることを理解し、実践できている。	○	○	○	5
	B 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○製図・表示 第三角法による図面	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	C 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○製図・表示 一消失点透視図法、二消失点透視図法	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	D 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○製図・表示 レンダリング	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	7
2 学期	A 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○平面構成	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	5
	B 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○平面構成	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	C 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○平面構成	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	D 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○平面構成	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	7
3 学期	A 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○コンピュータ	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	5
	B 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○コンピュータ	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	C 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○コンピュータ	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	D 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○コンピュータ	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	7

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 工業 科目 実習

教科： 0 科目： 実習 単位数： 6 単位  
 対象学年組： 第 1 学年 D 組～ 組  
 教科担当者： （ D組：高野 ） （ D組：降矢 ） （ D組：尾引 ） （ D組：有村 ） （ 組：渡辺 ）  
 使用教科書： （ ）

教科 0 の目標：  
 【知識及び技能】 デッサンや発想技術、レタリングや立体構成など幅広い分野において基礎的技術を身に付ける。  
 【思考力、判断力、表現力等】 専門知識、思考法、素材の理解  
 【学びに向かう力、人間性等】 態度 積極的に活動する態度、自己を向上させようと努力する態度、仲間との協調・協力、諸活動の持続性

科目 実習	の目標：
【知識及び技能】	平面作品から立体作品まで幅広い分野の基礎的技術を身に付ける。また、発想の力を培わせるために基礎的課題を複数通して知識を深めるとともに技能を活かせるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	それぞれの作品の完成度や表現方法を高める技術を活かし、思考力・判断力・表現力を身に付ける。その他の制作作業の応用として自信で考え展開できるよう繋げる。
【学びに向かう力、人間性等】	課題制作に意欲的に取り組み、社会とのつながりを意識した姿勢づくりを身に付ける。対象者を考慮したものづくりや社会情勢を考える力など意識づくりを持たせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配 当 時 数
1 学 期	【知識及び技能】 道具の扱い方、線種の理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な道具の選択、扱う技術 【学びに向かう力、人間性等】 丁寧な仕上げの心掛け	・立体構成：ボールバランス ・ドローイング： クローキーに挑戦 ・色彩：色の三属性、表色系 ・レタリング：溝引き、 烏口の練習	【知識・技能】 道具の扱い方、線種の理解 【思考・判断・表現】 適切な道具の選択、扱う技術 【主体的に学習に取り組む態度】 丁寧な仕上げの心掛け	○	○	○	18
2 学 期	【知識及び技能】 道具の扱い方、線種の理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な道具の選択、扱う技術 【学びに向かう力、人間性等】 丁寧な仕上げの心掛け	・立体構成：面材による立体造形 ・ドローイング：人体を知る ・色彩：ドミナントカラー配色 ・レタリング：和文書体 ・発想技術：テスト形式演習問題 ・デッサン：人体（手）の表現 ・造形素材：樹脂成型 ・レタリング：和文書体	【知識・技能】 道具の扱い方、線種の理解 【思考・判断・表現】 適切な道具の選択、扱う技術 【主体的に学習に取り組む態度】 丁寧な仕上げの心掛け	○	○	○	24
3 学 期	【知識及び技能】 道具の扱い方、線種の理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な道具の選択、扱う技術 【学びに向かう力、人間性等】 丁寧な仕上げの心掛け	・発想技術：形態分析と表現 ・デッサン：石膏デッサン ・造形素材：樹脂成型 ・レタリング：欧文書体	【知識・技能】 道具の扱い方、線種の理解 【思考・判断・表現】 適切な道具の選択、扱う技術 【主体的に学習に取り組む態度】 丁寧な仕上げの心掛け	○	○	○	24

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 工業 科目 デザイン概論

教科： 0 科目： デザイン概論 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 D 組～ 組

教科担当者： (D組：尾引 )

使用教科書： ( 参考・デザイン実践 )

教科 0 の目標：

【知識及び技能】 デザインの基礎知識の理解、社会におけるデザインの役割の理解

【思考力、判断力、表現力等】 感性の基礎を形成する情報の収集力、自己の制作のためのリサーチ、考えをまとめる文章力

【学びに向かう力、人間性等】 学ぶ姿勢・態度の習得、クリエイターの仕事と責任の理解

科目 デザイン概論 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
デザインの基礎知識の理解、社会におけるデザインの役割の理解	感性の基礎を形成する情報の収集力、自己の制作のためのリサーチ、考えをまとめる文章力	学ぶ姿勢・態度の習得、クリエイターの仕事と責任の理解

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 デザインの領域 【思考力、判断力、表現力等】 各カテゴリーの目的の理解 【学びに向かう力、人間性等】 社会の中で実際に発見する能動性	・指導事項 デザインの領域 ・教材 PP、一部プリント、一人1台端 末の活用	【知識・技能】 各領域と社会の中のデザイン活動を知る 【思考・判断・表現】 各領域の目的を理解する 【主体的に学習に取り組む態度】 実際に観察して理解を深め、興味・関心を持つ	○	○	○	5
	定期考査		なし				
	A 単元 【知識及び技能】 デザインの領域 【思考力、判断力、表現力等】 各カテゴリーの目的の理解 【学びに向かう力、人間性等】 社会の中で実際に発見する能動性	・指導事項 デザインの領域 ・教材 PP、一部プリント、一人1台端 末の活用	【知識・技能】 各領域と社会の中のデザイン活動を知る 【思考・判断・表現】 各領域の目的を理解する 【主体的に学習に取り組む態度】 実際に観察して理解を深め、興味・関心を持つ	○	○	○	5
定期考査			○	○		1	
2 学 期	C 単元 【知識及び技能】 クリエイター、アーティストの作品から学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 作家や作品から発想力や表現力を吸収する 【学びに向かう力、人間性等】 調べて興味深い部分を自分の言葉で発表する	・指導事項 ・教材 PP、一部プリント、一人1台端 末の活用	【知識・技能】 作品やワードからの検索と資料作成能力 【思考・判断・表現】 収集した資料を本質的なとらえ方によって 取捨選択して人に伝えるための資料作成を行う 【主体的に学習に取り組む態度】 プレゼンテーションによる成果発表	○	○	○	6
	定期考査		なし				
	C 単元 【知識及び技能】 クリエイター、アーティストの作品から学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 作家や作品から発想力や表現力を吸収する 【学びに向かう力、人間性等】 調べて興味深い部分を自分の言葉で発表する	・指導事項 ・教材 PP、一部プリント、一人1台端 末の活用	【知識・技能】 作品やワードからの検索と資料作成能力 【思考・判断・表現】 収集した資料を本質的なとらえ方によって 取捨選択して人に伝えるための資料作成を行う 【主体的に学習に取り組む態度】 プレゼンテーションによる成果発表	○	○	○	6
定期考査			○	○		1	
3 学 期	E 単元 【知識及び技能】 心理認知学からデザインワークを学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 人の認知や動作を基礎においたデザイン解決策を導き出す 【学びに向かう力、人間性等】 グループワーク・話し合いで解決策を提案する	・指導事項 ・教材 PP、一部プリント、一人1台端 末の活用	【知識・技能】 心理認知学によるデザイン思考 【思考・判断・表現】 心理認知学によるデザイン思考をもとに造形的解決を行う 【主体的に学習に取り組む態度】 個人のアイデアをもとにグループワークによって全体提案へと昇華させる	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

合計  
26

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 工業 科目 デザイン概論

教科：工業 科目：デザイン概論 単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 D科

教科担当者：（古川）

使用教科書：（自校作成教材）

教科 工業

の目標：

【知識及び技能】各種デザイン表現の基礎的な知識を習得し、制作作業において実践する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】用途に応じた道具の使い分け、表現技法の選択、応用的な表現力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】デザイン制作の役割と責任を理解し、デザインを通じて社会に貢献できる人間性を身に付ける。

科目 デザイン概論

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各種デザイン表現の基礎的な知識を習得し、制作作業において実践する技能を身に付ける。	用途に応じた道具の使い分け、表現技法の選択、応用的な表現力を身に付ける。	デザイン制作の役割と責任を理解し、デザインを通じて社会に貢献できる人間性を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	A 単元 写真技術 【知識及び技能】 ICTを活用し知識の定着を促す。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な活用例を示し写真技術の意義を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 実習と連携し、実践力を育む。	・指導事項 写真の歴史、絞り、シャッター、フィルム感度 ・教材 自校作成教材 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 写真技術に関する知識を習得できている。 【思考・判断・表現】 写真技術に関する道具や技法を適切に使い分けられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 写真技術に興味関心を持ち、意欲的に写真表現に活用することができる。	○	○	○	5
	B 単元 カメラの仕組み 【知識及び技能】 ICTを活用し知識の定着を促す。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な活用例を示しカメラの利用用途を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 実習と連携し、実践力を育む。	・指導事項 カメラの種類、露出計、レンズ、ファインダー ・教材 自校作成教材 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 カメラの構造を理解できている。 【思考・判断・表現】 カメラの機能や技法を適切に使い分けられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 カメラの仕組みに興味関心を持ち、主体的に写真撮影に取り組むことができる。	○	○	○	5
	C 単元 撮影技法 【知識及び技能】 ICTを活用し知識の定着を促す。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な活用例を示し撮影の重要性を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 実習と連携し、実践力を育む。	・指導事項 構図、ライティング、デジタルデータの取り扱い ・教材 自校作成教材 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 撮影技法の種類と用途を理解できている。 【思考・判断・表現】 各種撮影技法を目的に応じて使い分けられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な撮影技法に興味関心を持ち、主体的に写真撮影に活用することができる。	○	○	○	5
	定期考査	1学期に学習した内容の習得度合いを確認する。		○	○		
2 学 期	D 単元 知的財産権 【知識及び技能】 ICTを活用し知識の定着を促す。 【思考力、判断力、表現力等】 最新の話題を例に権利の重要性を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題制作を例に実践力を育む。	・指導事項 特許権、意匠権、商標権、著作権 ・教材 自校作成教材 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 知的財産権に関する知識を習得できている。 【思考・判断・表現】 各種権利の種類と役割を理解し、権利の利用と遵守を適切に行うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 デザイン制作活動において、主体的に権利を活用しようとする姿勢を身に付けている。	○	○	○	8
	E 単元 ウェブデザイン 【知識及び技能】 ICTを活用し知識の定着を促す。 【思考力、判断力、表現力等】 実務を例にウェブデザインの価値を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 利用者視点の獲得を目指す。	・指導事項 インターネットの歴史、HTMLの構造、ウェブアクセシビリティとユーザビリティ、ウェブブラウザ ・教材 自校作成教材 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ウェブデザインの背景を理解できている。 【思考・判断・表現】 多様な観点からウェブデザインの良し悪しを判断し、適切な表現ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ウェブデザインに興味関心を持ち、表現の幅を広げようとする姿勢を身に付けている。	○	○	○	8
	定期考査	2学期に学習した内容の習得度合いを確認する。		○	○		
	F 単元 ウェブコーディング 【知識及び技能】 ICTを活用し知識の定着を促す。 【思考力、判断力、表現力等】 デザインとコーディングの関係性を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 演習を交えてプログラミング思考の実践力を育む。	・指導事項 HTML、CSS、JavaScript ・教材 自校作成教材 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 各種プログラミング言語の特徴と役割を理解できている。 【思考・判断・表現】 コーディングの仕組みを理解し、ウェブページ制作に活用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 新しい技術を意欲的に学び、変化に対応しようとする姿勢を身に付けている。	○	○	○	8
	定期考査	1年間を通じて学習した内容の習得度合いを確認する。		○	○		合計 39



高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 工業 科目 デザイン実習

教科：工業 科目：デザイン実習 単位数：4 単位

対象学年組：第2学年 D科

教科担当者：（写真表現：古川 ・ デザイン材料：伊良原 ・ プロダクトデザイン：尾引 ）

使用教科書：（ ）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】道具・機材の使用に関する技術習得の進歩の度合い

【思考力、判断力、表現力等】専門知識、思考法、素材の理解

【学びに向かう力、人間性等】積極的に活動する態度、自己を向上させようとする態度、仲間との協調・協力、諸活動の持続性

科目 デザイン実習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
道具・機材の使用に関する技術習得の進歩の度合い	専門知識、思考法、素材の理解	積極的に活動する態度、自己を向上させようとする態度、仲間との協調・協力、諸活動の持続性

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 ・一眼レフカメラの基本操作 【思考力、判断力、表現力等】 知識 専門知識、思考法、素材の理解 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に活動する態度、自己を向上させようとする態度	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	A 単元 【知識及び技能】 ・一眼レフカメラの基本操作 【思考力、判断力、表現力等】 知識 専門知識、思考法、素材の理解 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に活動する態度、自己を向上させようとする態度	○	○	○	20
	B 単元 【知識及び技能】 ・立体物制作の基礎 【思考力、判断力、表現力等】 知識 専門知識、思考法、素材の理解 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に活動する態度、自己を向上させようとする態度	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	B 単元 【知識及び技能】 ・立体物制作の基礎 【思考力、判断力、表現力等】 知識 専門知識、思考法、素材の理解 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に活動する態度、自己を向上させようとする態度	○	○	○	20
	C 単元 【知識及び技能】 ・マーケティングリサーチについて 【思考力、判断力、表現力等】 知識 専門知識、思考法、素材の理解 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に活動する態度、自己を向上させようとする態度	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	C 単元 【知識及び技能】 ・マーケティングリサーチについて 【思考力、判断力、表現力等】 知識 専門知識、思考法、素材の理解 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に活動する態度、自己を向上させようとする態度	○	○	○	20
2 学 期	A 単元 【知識及び技能】 ・一眼レフカメラの基本操作 【思考力、判断力、表現力等】 知識 専門知識、思考法、素材の理解 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に活動する態度、自己を向上させようとする態度	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	A 単元 【知識及び技能】 ・一眼レフカメラの基本操作 【思考力、判断力、表現力等】 知識 専門知識、思考法、素材の理解 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に活動する態度、自己を向上させようとする態度	○	○	○	20
	B 単元 【知識及び技能】 ・立体物制作の基礎 【思考力、判断力、表現力等】 知識 専門知識、思考法、素材の理解 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に活動する態度、自己を向上させようとする態度	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	B 単元 【知識及び技能】 ・立体物制作の基礎 【思考力、判断力、表現力等】 知識 専門知識、思考法、素材の理解 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に活動する態度、自己を向上させようとする態度	○	○	○	20
	C 単元 【知識及び技能】 ・工業製品の提案 【思考力、判断力、表現力等】 知識 専門知識、思考法、素材の理解 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に活動する態度、自己を向上させようとする態度	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	C 単元 【知識及び技能】 ・工業製品の提案 【思考力、判断力、表現力等】 知識 専門知識、思考法、素材の理解 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に活動する態度、自己を向上させようとする態度	○	○	○	20
	A 単元 【知識及び技能】 ・一眼レフカメラの基本操作 【思考力、判断力、表現力等】 知識 専門知識、思考法、素材の理解 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に活動する態度、自己を向上させようとする態度	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	A 単元 【知識及び技能】 ・一眼レフカメラの基本操作 【思考力、判断力、表現力等】 知識 専門知識、思考法、素材の理解 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に活動する態度、自己を向上させようとする態度	○	○	○	20



高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 工業 科目 デザイン表現(印刷)

教科: 工業 科目: デザイン表現(印刷) 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 D 科

教科担当者: ( 降矢 )

使用教科書: ( )

教科 工業 の目標:

【知識及び技能】デザインワークに欠かせない印刷技法において基礎的な知識と技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】版画による化学的な版式の原理・技法を理解し、デジタルにはない表現力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】作業を通して協力的体制作りとコミュニケーションの重要性を体得する。

科目 デザイン表現(印刷) の目標: 旧式の印刷表現を学習することで現代のDTPと比較し、それぞれの良さを抽出できている。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
印刷(平版、凹版)の基礎を学び、手作業による製版とプレス機の操作法を習得する。 技法に見合った絵柄の工夫や演出がされている。	版画による化学的な版式の原理・技法を理解し、デジタルにはない表現力を身につける。 道具の扱い方及び安全面や班員への配慮ができ、迅速に行動できる等の判断力を身につける。	道具の清掃をはじめ共同作業を通して、協力的協調性の意義やコミュニケーションの重要性を工程の中で体感し修得する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 孔版 「シルクスクリーン」 【知識及び技能】 ・製版方法の理解、用紙の準備 ・アイデアスケッチの充実  【思考力、判断力、表現力等】 ・スケジュール工程と作業組立 ・紗張りを用いた版式の原理と、各使用色ごとのレイヤー分け(フィルム制作)についての理解  【学びに向かう力、人間性等】 ・用紙の準備 ・片付け、清掃	・指導事項 基本となる4つの印刷方式について作品の鑑賞を交えて学習させる。 。コスト面、手触りや色褪せのないシルクスクリーンと、オフセット印刷の違いを比較させる。  版画のコンペに応募することを一つの動機付けにする。  ・教材 シルクスクリーン印刷による、実際に使用された複数のポスター等資料 フィルムシート 手描き用オベークインク、ペン 感光乳剤	【知識・技能】 凸版、凹版、平版、孔版の違いについての基礎的な知識 コンセプトの立案とアイデアスケッチへの取り組み フィルム制作時の色分解  【思考・判断・表現】 2色展開による孔版の特徴を作品へ活かしたデザイン 道具の扱い方と理解  【主体的に学習に取り組む態度】 印刷準備における手順理解と行動 刷り台1台につき4名が対応するため、役割分担が発生する 互いへの協力的姿勢と道具の扱いに対する責任感	○	○	○	10
	A 単元 【知識及び技能】 ・描画によるフィルム作成 ・製版の仕組みと手順の修得 ・インクの作り方や溶剤の分量 ・デザインにおけるグラデーションの効果 ・トレース台の使い方 ・オベークインクの使い方  【思考力、判断力、表現力等】 ・スケジュール工程と作業組立 ・2色で展開するデザイン  【学びに向かう力、人間性等】 ・印刷の準備 ・片付け、清掃	・指導事項 版のズレができるだけ起こらないような構成とリスクを避ける工夫について説明し、理解を促す。 各生徒の進度に合わせた刷り順とグループ決めを行う。  ・教材 トレース台 フィルムシート 手描き用オベークインク、ペン 1台の刷り台に4名が対応 感光乳剤 スキージ 版画用インクと溶剤 スプレアーのり 溶剤用手袋	【知識・技能】 フィルム制作時の色分解 オベークインクの使い方(塗り方) 色彩バランス(構成力) 溶剤等の安全と正確な取り扱いができています  【思考・判断・表現】 2色展開による孔版の特徴を作品へ活かしたデザイン 道具の扱い方と理解  【主体的に学習に取り組む態度】 互いへの協力的姿勢と道具の扱いに対する責任感 実習時間を逆算した進行と周知 道具の片付け	○	○	○	10
	A 単元 ・インクの作り方や溶剤の分量 ・製版の仕組みと手順の修得 ・スキージの扱い(グラデーションで刷る場合の工程の違い)への理解 ・手際の良さ ・落版の手順  【思考力、判断力、表現力等】 ・スケジュール工程と作業組立 ・2色で展開するデザイン  【学びに向かう力、人間性等】 ・印刷の準備 ・片付け、清掃	・指導事項 溶剤を用いたインクの丁合 安全で正確な取り扱い方をしているか。 換気の徹底。  ・教材 手描き用オベークインク、ペン 1台の刷り台に4名が対応 感光乳剤 スキージ 版画用インクと溶剤 スプレアーのり 落版用クリーナー 高圧洗浄機	【知識・技能】 溶剤やクリーナーの安全と正確な取り扱いができています プレゼンテーション  【思考・判断・表現】 2色展開による孔版の特徴を作品へ活かしたデザイン 道具の扱い方と理解  【主体的に学習に取り組む態度】 印刷準備における手順理解と行動 刷り台1台につき4名が対応するため、役割分担が発生する 互いへの協力的姿勢と道具の扱いに対する責任感 実習時間を逆算した進行と周知 道具の片付け	○	○	○	24
3 学期	B 単元 凹版 アークアチント(エッチング) 【知識及び技能】 ・エッチングとの表現比較 ・防蝕処理、グラウンド塗布、腐食についての知識  【思考力、判断力、表現力等】 ・スケジュール工程と作業組立  【学びに向かう力、人間性等】 ・印刷、用紙の準備 ・片付け、清掃	・指導事項 エッジの効いた線画と面の腐食についての特徴を丁寧に説明する。 ニードルの扱いについての安全指導を行う。  ・教材 銅版 カーボン紙 ニードル ルーレット 松脂の粉末 グラウンド(蜜蝋) 塩化第二鉄 等	【知識・技能】 版画用薬剤等の安全と正確な取り扱いができています ニードルによる繊細で精密な表現ができています プレゼンテーション  【思考・判断・表現】 道具の扱い方と理解による作品表現  【主体的に学習に取り組む態度】 印刷準備における手順理解と行動 互いへの協力的姿勢と道具の扱いに対する責任感 実習時間を逆算した進行と周知	○	○	○	18
	合計						

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 工業 科目 デザイン表現(デッサン)

教科：工業

科目：デザイン表現(デッサン)

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 D 科

教科担当者：（伊良原）

使用教科書：（ ）

教科 工業

の目標：

【知識及び技能】デッサンの基礎及び発展的な知識を習得し、制作作業において実践する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】用途に応じた道具の使い分け、表現技法の選択、応用的な表現力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】美大進学を意識した学びを通して、表現の幅を広げ自己実現に向けた力を培う。

科目 デザイン表現(デッサン)

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各種デザイン表現に必要なデッサン知識を習得し、制作作業において実践する技能を身に付ける。	用途に応じた道具の使い分け、表現技法の選択、応用的な表現力を身に付ける。	デザイン制作の役割と責任を理解し、デザインを通じて社会に貢献できる人間性を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準			配当 時数	
			知	思	態		
1 学期	単元 デッサン 【知識及び技能】 様々な素材をかき分けるデッサン技法を知り、実践する。 画面の効果的な見せ方、構図の活かし方を学び、実践する。 【思考力、判断力、表現力等】 課題の趣旨を理解した上で透視図法などの遠近法を生かし、表現できるようにする。 それぞれの素材を表現する技法を身に着ける。 【学びに向かう力、人間性等】 表現力を高めるための工夫をする。	・指導事項 素材をかき分ける ・足とひざ ・静物デッサン（組み）	【知識・技能】 課題内容を理解しているか。 素材をかき分けられているか。 明暗をかき分けられているか。 【思考・判断・表現】 構図の工夫により適切な表現ができているか。 適切な道具が使用できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 何度も積極的に挑戦し、気付きを得ようとする。 より良い表現の為に工夫しながら作業をしているか。	○	○	○	10
		・指導事項 素材をかき分ける 構図を学ぶ 石膏デッサン	【知識・技能】 課題内容を理解しているか。 素材をかき分けられているか。 構成を意識した画面使いができているか。 【思考・判断・表現】 構図の工夫により適切な技法が使用されて表現できているか。 適切な道具が使用できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 より良い表現の為に工夫しながら作業をしているか。 ほかの人の作品から学ぶ姿勢が持っているか。	○	○	○	10
2 学期	石膏デッサン講評 模写 卓上デッサン		【知識・技能】 課題内容を理解しているか。 素材をかき分けられているか。 構成を意識した画面使いができているか。 円（筒）の表現が適切か。 【思考・判断・表現】 構図の工夫により適切な技法が使用されて表現できているか。 適切な道具が使用できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 より良い表現の為に工夫しながら作業をしているか。 ほかの人の作品から学ぶ姿勢が持っているか。				24
		・指導事項 ・多種多様な素材、題材のモチーフを描く ・静物（囲み）	【知識・技能】 課題内容を理解しているか。 素材をかき分けられているか。 構成を意識した画面使いができているか。 円（筒）の表現が適切か。 【思考・判断・表現】 構図の工夫により適切な技法が使用されて表現できているか。 適切な道具が使用できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 より良い表現の為に工夫しながら作業をしているか。 ほかの人の作品から学ぶ姿勢が持っているか。				18
3 学期						62	

# 令和5年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	降矢 保楠		
教科の名称	工業(デザイン)		
科目の名称	デザイン研究B(編集デザイン)		
使用教科書	デザイン技術、明解クリエイターのための印刷ガイドブック基礎編、自作資料プリント		
指導学年・学科	3学年・デザイン科		
単位数	4単位		
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デザイン活動に求められる造形表現の応用力・展開力を身につける。</li> <li>・社会に貢献するためのデザインワークのあり方について探求する姿勢を育む。</li> <li>・DTP技法・編集デザインについての表現技法を学び技術向上を図る。</li> <li>・公募への積極的な参加</li> </ul>		
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DTPの分野についての基礎的な理解を深め、探究心をもって意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・装丁・ページ構成・書体選定・文字組・配置について、計画的で丁寧な作業が出来る。</li> <li>・製本。造本技術、レイアウトの基礎知識および技術を習得している。</li> </ul>		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目デザイン研究Bの具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・編集デザインの基礎知識</li> <li>・絵本制作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本の名称、仕組みについて</li> <li>・ページレイアウトの概念について</li> <li>・出版におけるDTPの流れについて</li> </ul>	12
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本制作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンセプト、原稿、レイアウト立案</li> <li>・サムネール作成</li> <li>・イラスト描画、データ作成</li> </ul>	16
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本制作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原稿修正、イラスト描画、データ作成</li> <li>・レイアウト</li> </ul>	16
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本制作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原稿修正、イラスト描画、データ作成</li> <li>・レイアウト</li> </ul>	12
8月			
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本制作、完成</li> <li>・製本</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無線綴じ、糸かがり上製本の講習</li> <li>・製本作業</li> <li>・提出(プレゼンテーション、講評)</li> </ul>	16
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分史制作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンセプト、レイアウト立案</li> <li>・サムネール作成</li> <li>・データ作成</li> </ul>	16
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分史制作</li> <li>・InDesignの演習(中級編)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画像解像度と画像サイズとの関係</li> <li>・雑誌(見開き2ページ分)のレイアウト作成</li> <li>・自分史データ作成</li> </ul>	16
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分史制作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データ作成</li> </ul>	12
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分史制作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データ作成</li> </ul>	12
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分史制作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データ作成</li> </ul>	16
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分史制作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データ修正</li> <li>・製本作業</li> <li>・提出(プレゼンテーション、講評)</li> </ul>	12
		合計	156

# 令和5年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	森 恵美子		
教科の名称	工業(デザイン)		
科目の名称	デザイン研究A(イラストレーション)		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	3学年・デザイン科		
単位数	4単位		
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会におけるイラストレーションの役割を認識する</li> <li>・他人と共感しあえる作品を制作する</li> </ul>		
評価の観点	イラストの目的の理解 表現の的確さ 描写技術		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目体育の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	イラストレーション技法	様々な画材の性質を知る 様々な描画テクニックについて知る	12
5月	イラストレーション技法	様々な画材の性質を知る 様々な描画テクニックの演習	16
6月	イラストレーション技法	様々な表現技法、タッチを利用したイラストレーション制作 模写によるタッチ研究	16
7月	イラストレーション技法	様々な表現技法、タッチを利用したイラストレーション制作 模写によるタッチ研究	12
8月			
9月	イラストレーション展開	版画イラストレーション 版画の技法演習	16
10月	イラストレーション展開	版画イラストレーションからの発展	16
11月	イラストレーション展開	イラストを生かした商品計画 リサーチから演習	16
12月	イラストレーション展開	イラストを生かした商品づくり	12
1月	イラストレーション展開	プロの技法と作品に触れる 展覧会からの発想	12
2月	イラストレーション展開	プロの技法と作品に触れる 展覧会からの発想	16
3月	イラストレーション展開	プロの技法と作品に触れる 展覧会からの発想	12
		合計	156

# 令和5年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	古川 隆		
教科の名称	工業(デザイン)		
科目の名称	デザイン計画B(Web)		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	3学年・デザイン科		
単位数	2単位		
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Webというメディアを通して、デザインがインタラクティブ・コミュニケーションのツールとしての役割を果たすことを知る。</li> <li>・発想から企画、素材の選択、制作、プレゼンテーション、流通までデザインの流れを学ぶ。</li> </ul>		
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート・ラフスケッチ・作品など、制作から作品提出までの総合評価</li> <li>・評価の観点[提出物の内容・期限・出席状況・意欲]</li> </ul>		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目体育の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	Webサイト制作基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DreamWeaverによるWebサイト構築の演習</li> <li>・基本操作の習得</li> </ul>	6
5月	Webサイト制作基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DreamWeaverによるWebサイト構築の演習</li> <li>・HTML講義・演習</li> </ul>	8
6月	Webサイト制作基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CSS講義・演習</li> <li>・Webサイトトップページ制作</li> </ul>	8
7月	Webサイト制作基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Webサイトトップページ制作</li> </ul>	6
8月			
9月	Webサイト制作応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CSS応用講義・演習</li> <li>・jQuery講義・演習</li> <li>・Webサイト下層ページ制作</li> </ul>	8
10月	Webサイト制作応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・jQuery講義・演習</li> <li>・Webサイト下層ページ制作</li> </ul>	8
11月	Webサイト制作応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Webサイト下層ページ制作</li> </ul>	8
12月	Webサイト制作応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レスポンスWebデザイン講義・演習</li> </ul>	6
1月	Webサイト制作応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Webサイトブラッシュアップ</li> </ul>	6
2月	Webサイト制作応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Webサイトブラッシュアップ</li> </ul>	8
3月	Webサイト制作応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Webサイトブラッシュアップ</li> </ul>	6
		合計	78

# 令和5年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	尾引 亮太		
教科の名称	工業(デザイン)		
科目の名称	デザイン計画A(ポートフォリオ)		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	3学年・デザイン科		
単位数	2単位		
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポートフォリオの果たすべき機能(可読性、プロモーション機能)を理解し、個々の目的に適った作品集を作成する。</li> <li>・内容をより魅力的に見せるために誌面を工夫し、個々の進路希望にかなうデザインを考える。</li> </ul>		
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポートフォリオの機能や役割、作品集制作のワークフローについての理解</li> <li>・作業の的確さ、制作技術、完成度</li> </ul>		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目体育の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	ポートフォリオ制作 年間計画作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路活動とポートフォリオの目的を明確にする</li> <li>・作品撮影における留意点</li> <li>・キャプションにおける留意点</li> </ul>	6
5月	ポートフォリオ制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポートフォリオに必要な作品制作計画</li> <li>・撮影計画</li> </ul>	8
6月	ポートフォリオ制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポートフォリオに必要な作品制作</li> <li>・CGスキル研究</li> <li>・撮影</li> </ul>	8
7月	ポートフォリオ発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポートフォリオを用いたプレゼンテーション</li> <li>・講評会</li> </ul>	6
8月			
9月	ポートフォリオと プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・追加的作品制作・撮影</li> <li>・講評会をふまえたプレゼンツール手直し</li> <li>・プレゼンテーションスキル研究</li> </ul>	8
10月	ポートフォリオと プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・追加的作品制作・撮影</li> <li>・講評会をふまえたプレゼンツール手直し</li> <li>・プレゼンテーションスキル研究</li> </ul>	8
11月	プレゼン及び グループ討論練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・追加的作品制作・撮影</li> <li>・プレゼンテーションスキル研究</li> </ul>	8
12月	プレゼン及び グループ討論練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・追加的作品制作・撮影</li> <li>・プレゼンテーションスキル研究</li> </ul>	6
1月	改良ポートフォリオ発表 と講評会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションスキル研究</li> <li>・講評会</li> </ul>	6
2月	改良ポートフォリオ発表 と講評会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションスキル研究</li> <li>・講評会</li> </ul>	8
3月	改良ポートフォリオ発表 と講評会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションスキル研究</li> <li>・講評会</li> </ul>	6
		合計	78

# 令和5年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	高野 美歩		
教科の名称	工業(デザイン)		
科目の名称	デザイン史		
使用教科書	文部科学省 デザイン史		
指導学年・学科	3学年・デザイン科		
単位数	2単位		
科目の目標	造形とデザインの歴史を理解し、鑑賞する態度・能力と実際の創造に反映する技術を育てる。		
評価の観点	デザイン史の理解・思考力、鑑賞能力と自身の造形活動への応用力		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目体育の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	西洋の造形・ デザインの変革	・原始、旧石器時代の西洋における造形活動と人々の営みの関わりを知る	6
5月	西洋の造形・ デザインの変革	・古代オリエント、ギリシャなど宗教的美術作品から造形の歴史と意義を学ぶ	8
6月	西洋の造形・ デザインの変革	・古代ローマにおけるキリスト教美術を学び、その歴史的背景と変遷を学ぶ	8
7月	西洋の造形・ デザインの変革	・ロマネスク・ゴシック時代の建築物から歴史的特徴やデザインを学ぶ	6
8月			
9月	西洋の造形・ デザインの変革	・近世の作品からキリスト教美術、宗教シンボルを理解し、当時の美術界の動きを理解する	8
10月	西洋の造形・ デザインの変革	・近代デザインの成立と展開について理解する	8
11月	日本の造形・ デザインの変革	・原始、古代の日本における造形活動と人々の営みの関わりを知り、現代の日本文化の礎を先人に習う ・テーマ史(仏教伝来以前・以後、庭園史)	8
12月	日本の造形・ デザインの変革	・中世の日本における造形活動と人々の営みの関わりを知り、現代の日本文化の礎を先人に習う ・テーマ史(茶道・武具)	6
1月	日本の造形・ デザインの変革	・近世の日本における造形活動と人々の営みの関わりを知り、現代の日本文化の礎を先人に習う ・テーマ史(絵画)	6
2月			
3月			
		合計	64

# 令和5年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	有村 徹 森 恵美子		
教科の名称	工業(デザイン)		
科目の名称	デザイン技術		
使用教科書	デザイン技術		
指導学年・学科	3学年・デザイン科		
単位数	2単位		
科目の目標	ビジュアルコミュニケーション、プロダクトデザインに関する様々な理論、知識、鑑賞法などを学ぶ。		
評価の観点	各単元の理論や用語, 知識などの理解度 積極的に授業に参加する態度		
月	指導内容 【年間授業計画】	デザイン実習の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	ビジュアル コミュニケーション デザイン	コミュニケーションの理論	6
5月	ビジュアル コミュニケーション デザイン	マスコミの理論	8
6月	ビジュアル コミュニケーション デザイン	広告の概論	8
7月	ビジュアル コミュニケーション デザイン	編集デザイン、印刷原理と技術	6
8月			
9月	プロダクト デザイン	工業デザイン概論	8
10月	プロダクト デザイン	デザインワークに関する材料	8
11月	プロダクト デザイン	クラフトデザインの内容と現場	8
12月	プロダクト デザイン	製品開発の現場	6
1月	デザインと 環境問題	生産品がどう地球に影響を与えているか	6
2月	デザインと 環境問題	今後デザイン分野が環境にどう貢献できるか	8
3月	デザインと 環境問題	デザインとは	6
		合計	78

# 令和5年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	高野 美歩 尾引 亮太 古川 隆 伊良原 満美		
教科の名称	工業(デザイン)		
科目の名称	実習		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	3学年・デザイン科		
単位数	5単位		
科目の目標	2学年で学習した応用技術からステップアップし、実践を踏まえた発展的技術を習得する ・写実実習 ・デッサン、構成実習 ・V.I.計画実習 ・クラフト実習		
評価の観点	①技能 道具・機材の使用に関する技術習得の進歩の度合い ②知識 専門知識、思考法、素材の理解 ③態度 積極的に活動する態度、自己を向上させようと努力する態度、仲間との協調・協力、諸活動の持続性		
月	指導内容 【年間授業計画】	デザイン実習の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	授業の目的理解	・デジタルカメラ撮影とコンピュータ処理 ・陶芸作品制作に必要なろくろ造り、たたら造り、ひも造り等の基礎技術 ・C.I.についての理解 ・鉛筆やコンテを使用したデッサン	15
5月	道具の正しい扱い方 発想力の向上	・デジタルカメラ撮影とコンピュータ処理 ・陶芸作品制作に必要なろくろ造り、たたら造り、ひも造り等の基礎技術 ・C.I.の手法演習 ・鉛筆やコンテを使用したデッサン	20
6月	道具の正しい扱い方 発想力の向上	・6×6カメラを使用したポートレート撮影 ・食器・陶器の制作、焼成 ・V.I.計画の立案とデザイン ・アクリルガッシュ等を使用した色彩構成	20
7月	道具の正しい扱い方 発想力の向上	・6×6カメラを使用したポートレート撮影 ・陶芸作品を実際に使用して機能と造形について学習する ・V.I.計画の立案とデザイン ・アクリルガッシュ等を使用した色彩構成	15
8月			
9月	技術の応用・発展	・35mmマクロレンズ撮影 ・陶芸作品を実際に使用して機能と造形について学習する ・V.I.計画の立案とデザイン ・画面構成、質感描写等を重点的練習	20
10月	技術の応用・発展	・卒業制作に向けて ・美術系大学の実技入試に向けて	20
11月	技術の応用・発展	・卒業制作に向けて ・美術系大学の実技入試に向けて	20
12月	技術の応用・発展	・卒業制作に向けて ・美術系大学の実技入試に向けて	15
1月	発表力の向上 展示技術の向上	・卒業プレゼンテーション ・卒業制作展の準備	20
2月	発表力の向上 展示技術の向上	・卒業制作展の準備	15
3月	発表力の向上 展示技術の向上	・卒業制作展の準備	15
		合計	195

# 令和5年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	降矢 保楠 有村 徹 森 恵美子 岩田 綾		
教科の名称	工業(デザイン)		
科目の名称	課題研究(映像・プロダクトデザイン・グラフィックデザイン・デッサン構成)		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	3学年・デザイン科		
単位数	5単位		
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像作品の企画、絵コンテから撮影、編集の基本技術を学ぶ</li> <li>・プロダクトデザインの一連のプロセスを学び、思考力・造形力・表現力・発表力を養う</li> <li>・グラフィックデザインの企画・制作・プレゼンテーション等一連のクリエイティブワークを学ぶ</li> <li>・デザイン・美術系学校の実技試験への意識付けと、描写力・造形力の向上を目指す</li> </ul>		
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・撮影・編集技術の習得、機械の使い方、映像表現の目的的理解など</li> <li>・コンセプト企画立案能力、制作技術、プレゼンテーション技術など</li> <li>・伝達すべきテーマ設定と、そのコミュニケーション表現方法の理解</li> <li>・美術系学校の実技試験に求められる、描写力、造形力、忍耐力</li> </ul>		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目体育の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	映像 プロダクトデザイン グラフィックデザイン デッサン	番組制作 企画書、絵コンテ制作、撮影 アイデア展開、製図、モックアップ制作 アドバタイジングについて学ぶ 鉛筆やコンテを使用したデッサンによる素描の基礎技術、画面構成、質感描写等	15
5月	映像 プロダクトデザイン グラフィックデザイン デッサン	番組制作 撮影・編集作業 図面作成、モックアップ制作 展覧会リサーチにより広義のグラフィックデザインについて知る 鉛筆やコンテを使用したデッサンによる素描の基礎技術、画面構成、質感描写等	20
6月	映像 プロダクトデザイン グラフィックデザイン デッサン	(グループ制作)CM企画 撮影・編集作業 モックアップ制作 チームで広告を起案 アクリルガッシュ等を使用した色彩構成。画面構成、色彩調和等のトレーニング	20
7月	映像 プロダクトデザイン グラフィックデザイン デッサン	(グループ制作)CM企画 編集作業 市場調査、製品企画、レンダリング ポスター制作を通してディレクター・デザイナー・コピーライターの役割を知る アクリルガッシュ等を使用した色彩構成。画面構成、色彩調和等のトレーニング	15
8月			
9月	映像 プロダクトデザイン グラフィックデザイン デッサン	CM企画・編集 レンダリング、モデリング、プレゼンテーション 各自の卒業制作企画・制作 大学などの推薦入試・実技入試対策、自画像デッサン・静物デッサン	20
10月	映像 プロダクトデザイン グラフィックデザイン デッサン	CM企画・撮影・編集 レンダリング、モデリング、プレゼンテーション 各自の卒業制作企画・制作 大学などの推薦入試・実技入試対策、自画像デッサン・静物デッサン	20
11月	映像 プロダクトデザイン グラフィックデザイン デッサン	各自の卒業制作 大学などの推薦入試・実技入試対策、自画像デッサン・静物デッサン	20
12月	映像 プロダクトデザイン グラフィックデザイン デッサン	各自の卒業制作 大学などの推薦入試・実技入試対策、自画像デッサン・静物デッサン	15
1月	発表力の向上 展示技術の向上	卒業制作プレゼンテーション 大学などの実技入試対策、自画像デッサン・静物デッサン	20
2月	発表力の向上 展示技術の向上	卒業制作展の準備 大学などの実技入試対策、自画像デッサン・静物デッサン	15
3月	発表力の向上 展示技術の向上	卒業制作展の準備 大学などの実技入試対策、自画像デッサン・静物デッサン	15
		合計	195